

## 2013年2月 キューバ情勢

### I 概況

#### 1 内政

●3日、人民権力全国議会・県議会総選挙が実施され、24日に人民権力全国議会第8立法期が開会された。

●24日、ラウル・カストロ国家評議会議長は人民権力全国議会第8立法期開会式において今期(2013-18)限りで引退する旨宣言すると共に、国家評議会第一副議長にディアスカネル氏が選出された。

#### 2 外交

●オバマ大統領が昨2012年11月に再選してから最も高いレベルの米国超党派議員団(団長:レーヒー上院議員)が当国を訪問しラウル・カストロ国家評議会議長の他、アラルコン人民権力全国議会議長(当時)、ブルーノ・ロドリゲス外相と会談した。

●メドベージェフ露首相が当国を実務訪問し、ラウル議長、フィデル前議長とそれぞれ会談した他、ソ連時代のキューバへの信用供与に基づくキューバの対露債務の正常化に係る協定を含む10の文書が署名された。

### II 内政

#### 1 人民権力全国議会議員及び県議会議員選挙(往電第104号,同第110号,同第127号)

(1)3日、フィデル・カストロ前議長は人民権力全国議会・県議会総選挙に投票するため投票所を訪れ、居合わせた記者を相手に約1時間半に亘り懇談し、その写真が翌4日のグランマ紙に掲載された。

(2)選挙の結果、全国議員立候補者612人及び県議会議員立候補者1,269人全員が当選した。公式投票率は90.88%、有効投票率は94.17%、白票率及び無効投票率はそれぞれ4.62%及び1.21%であった。

#### 2 国家評議会議長の選出(往電第177号)

24日、人民権力全国議会第8立法期が開会され、国家評議会役員及び委員が選出され、その結果ラウル・カストロ議長が再任、ミゲル・ディアスカネルが同第一副議長に選出された。またラウル議長は、今期(2013-18)を最後に引退すると宣言した。開会式にはフィデル・カストロ前議長も出席し、演説を行った。

#### 3 第6回共産党中央委員会総会の開催(往電第202号)

24日、ラウル・カストロ党中央委員会第一書記(国家評議会議長)主催の下、第6回共産党中央委員会総会が開催され、党として推薦する国家評議会委員候補者リストが承認された。

### III 外交

#### 1 米・キューバ関係に関する外務省非難声明（往電第103号）

1日、キューバ外務省は、この50年間で変化していないのはキューバでなく米国の対キューバ政策であり、オバマ大統領がキューバの現状、そしてキューバとの関係正常化を望む米国国民の希望を理解していないことは遺憾であるとする非難声明を発出。

#### 2 マドゥーロ・ベネズエラ副大統領他のチャベス大統領見舞い（往電第115号）

6日、マドゥーロ・ベネズエラ副大統領、ハウア外相及びフローレス管財長官がチャベス・ベネズエラ大統領を見舞った。

#### 3 CELAC教育大臣会合の開催（往電第124号）

7日、CELAC教育大臣会合が、当地にて4日～8日開催された国際教育学会議2013のマージンにて開催された。会合の成果として、最終宣言に加え、CELACの識字率100%達成を含む諸目標のための作業工程表が採択された。

#### 4 ムネラ・カリブ諸国連合事務局長の当国訪問（往電第147号）

12日、ブルーノ・ロドリゲス外相は当地を訪問中のムネラ・カリブ諸国連合事務局長と会談し、キューバはCELAC議長国としてラ米、カリブ及びその準地域機関の統合を促進する旨述べた。

#### 5 バルセナ ECLAC 事務局長の当国訪問（往電第151号）

13日、ラウル・カストロ議長は当地を訪問中のバルセナ ECLAC 事務局長と会談し、国際経済危機や環境問題等の国際情勢につき意見交換した。

#### 6 ベアード・カナダ外相の当国訪問（往電第157号）

15日、ムリージョ閣僚評議会副議長（当時）は当国を実務訪問中のベアード・カナダ外相と会談し、貿易、投資及び観光分野において良好に発展する二国間関係及びその展望につき意見交換した。

#### 7 フィデル・カストロ前国家評議会議長宛チャベス・ベネズエラ大統領宛書簡（往電第163号）

18日、フィデル・カストロ前国家評議会議長がチャベス・ベネズエラ大統領のベネズエラ帰国に際しチャベス大統領に宛てた17日付書簡が公表された。

#### 8 米国連邦議員一行の当国訪問（往電第165号）

18日～20日、レーヒー上院議員を団長とする米国超党派議員団が当国を訪問しラウル・カ

ストロ国家評議会議長の他、アラルコン人民権力全国議会議長（当時）、ブルーノ・ロドリゲス外相と会談した。今次キューバ訪問はオバマ大統領が再選してから初のハイレベルのキューバ訪問であり、レーヒー議員は、今回の訪問は二国関係の改善に向けた努力をするためであると述べた。

#### 9 キューバのテロ支援国家リストからの除外を求める声（往電第168号）

ボストン・グローブ紙は、米国内で、キューバを米務省のテロ支援国家リストから除外すべきとの圧力が高まっており、米国政府高官も「（キューバがテロ支援国家の）基準を満たしていないとの主張を支える十分な論拠はある。（テロを支援する）資力もなければ、実際支援活動も特に行っていない」と述べた旨報じた。

#### 10 アルマグロ・ウルグアイ外相の当国訪問（往電第172号）

17日～20日、アルマグロ・ウルグアイ外相が当国を公式訪問し、ラウル・カストロ議長、ブルーノ・ロドリゲス外相他と会談した。

#### 11 Saeidlo イラン副大統領の当国訪問（往電第173号）

18日～20日、アフマディネジャド・イラン大統領特使として Saeidlo イラン副大統領が当国を訪問し、ラウル・カストロ議長及びカプリサス閣僚評議会副議長と会談した。またアフマディネジャド大統領発ラウル議長宛のメッセージが伝達された。

#### 12 メドベージェフ露首相の当国訪問（往電第179号）

21日～22日、メドベージェフ露首相が当国を実務訪問し、ラウル議長、フィデル前議長とそれぞれ会談した他、ソ連時代のキューバへの信用供与に基づくキューバの対露債務の正常化に係る協定を含む10の文書が署名された。

#### 13 「5人の英雄」に関する外務省非難声明（往電第193号）

27日、キューバ外務省は、2012年9月以来、米国務省は在米キューバ利益代表部によるレネ・ゴンサレスとの領事面会申請を求める申請を全て却下しており、これはウィーン領事関係条約違反であると非難する非難声明を発出した。

#### 14 要人来訪

##### (1) トルスティラ・フィンランド外務次官（5日）

実務訪問。シエラ・キューバ外務次官と会談し、両国間の協力を再開するための政治宣言に署名。

##### (2) マドゥーロ・ベネズエラ副大統領（6日）（往電第115号）

6日、ハウア外相及びフローレス管財長官と共にチャベス・ベネズエラ大統領を見舞った。

(3) レベロ・ブラジルスポーツ大臣(11日~17日)

実務訪問。ヒメネス INDER 長官, アスリート他と会談した他, スポーツ関連施設を視察。

(4) ムネラ・カリブ諸国連合事務局長(12日)(往電第147号)

実務訪問。ブルーノ・ロドリゲス外相と会談。

(5) バルセナ ECLAC 事務局長(13日~15日)(往電第151号)

実務訪問。ラウル・カストロ議長と会談した他, ハバナ大学で講演を行った。

(6) ウィンター・カビンバ・ザンビア愛国戦線事務局長(12日)

党中央委員会の招待を受けて訪問。党関係者と会談したほか, 歴史文化施設を視察。

(7) ベアード・カナダ外相(15日)(往電第157号)

実務訪問。ムリージョ閣僚評議会副議長(当時)と会談。

(8) アルマグロ・ウルグアイ外相(17日~20日)(往電第172号)

公式訪問。ラウル・カストロ議長, ブルーノ・ロドリゲス外相他と会談。

(9) レーヒー米国上院議員他(18日~20日)(往電第165号)

レーヒー上院議員を団長とする米国超党派議員団が訪問し, ラウル・カストロ国家評議会議長の他, アラルコン人民権力全国議会議長(当時), ブルーノ・ロドリゲス外相と会談。

(10) Saeidlo イラン副大統領(18日~20日)(往電第173号)

イラン大統領特使として訪問。ラウル・カストロ議長, カブリサス閣僚評議会副議長と会談。

(11) メドベージェフ露首相(21日~22日)(往電第179号)

実務訪問。ラウル・カストロ議長と会談し, 計10の協定等が署名された。